

フラクショナル炭酸ガスレーザー治療に関する説明書・同意書

❖ フラクショナル炭酸ガスレーザー治療について

最新のアブレイティブ・フラクショナルレーザーでは、疾患に応じて治療モードを選択することでニキビ痕、シワ、色素性疾患、リジュビネーション(お肌の若返り)等の治療がおこなえます。このフラクショナル炭酸ガスレーザーは、10,600nmの波長を持ち、皮膚の水分に反応し蒸散と熱凝固作用を起こします。この作用は組織の一部を確実に蒸散でき組織を取り除き、コラーゲンの収縮を生じさせるので、ニキビ跡や傷跡、毛穴の開き、肌質の改善等の治療をおこなうことができると言われています。治療を行われた当日から数日は治療部位が赤くなったり、腫れたりすることがあり、数日間は自己ケアが必要となります。また、治療が完了するまでは色素沈着のリスクを減らすために、日焼け止めの使用が必要となります。

❖ 適応症例

- ・ニキビ跡(クレーター状の陥凹)・毛穴の開き、凹凸・皮膚のシワ・瘢痕
- ・スキントック・単純黒子・酒さ鼻

❖ 治療方法と経過

病変に適した照射モードで治療を行います。治療直後は赤味や腫れ、表皮がはがれた部分が点状に白っぽくなったりします。しかし、これは望ましい反応ですので心配はいりません。

赤味や腫れは治療後3日程度～2週間程続きますが自然に改善します。また、照射直後にヒリヒリ感がありますが、一時的なもので時間の経過とともに治まります。

❖ 注意事項

- ・施術後の肌は敏感なため、湿疹やかゆみ、肌荒れの原因になりやすい刺激の強いスキンケアは避けて下さい。
- ・治療部位の腫れ、赤み等の症状は冷却することで軽減することがあります。軽減がない場合やご心配な時はご連絡下さい。
- ・照射当日から1～2日は乾燥を防ぐ為にワセリン等で保湿を行って下さい。
- ・感染を予防するために皮膚は清潔にして下さい。赤みや腫れが続いている間はぬるま湯や水で優しく洗い流して下さい。スクラブ入りやピーリング作用のある洗顔剤は使用しないで下さい。
- ・合併症がなければ化粧は3～5日後からになります。髭剃りは痂皮が剥がれてから行って下さい。
- ・治療当日は激しい運動、サウナ、飲酒等は避けて下さい。
- ・治療期間中は日焼け止め(SPF30以上)を使用し、合併症を防ぐため日焼けを予防して下さい。
- ・治療後の経過にはいくらかの個人差があります。
- ・治療中、治療後に予期しない合併症や後遺症が生じる可能性があります。

❖ 合併症

- ・まれに治療部位に内出血や紫斑、水泡(水ぶくれ)をともなった熱傷が生じる可能性があります。
- ・色素沈着が数か月以上残存する可能性があります。
- ・ごくまれに、湿疹、かゆみが生じる可能性があります。
- ・肝斑が増悪する可能性があります。

裏面に続く

❖ 治療が受けられない方・注意が必要な方

※下記の病気や症状がある方、下記薬剤の使用中的の方は治療を受けられません※

- ・アキュテイン(イソトレチノイン)使用
- ・妊婦・授乳中
- ・治療部位に感染
- ・肝斑
- ・神経系疾患、心臓疾患、糖尿病
- ・治療部位の単純ヘルペスⅠ型、Ⅱ型の活動病変
- ・光過敏症
- ・免疫不全症や免疫抑制剤使用
- ・抗凝固系薬剤使用
- ・抗凝固異常
- ・治療部位の皮膚癌
- ・ケロイド体質
- ・治療部位に血管系疾患、刺青、アートメイク
- ・治療部位に化学物質使用
- ・日焼け直後の皮膚

治療中は必ず担当医師の指導に従って下さい。医師の指導に従わない場合、十分な治療効果を得られないだけでなく、障害が発生する場合があります。また、治療の過程で異常を感じた場合は必ず医師や看護師に報告し、必要時は医師の診察を受けその指示に従って下さい。また、当院では治療経過の確認のためにカルテ用の写真撮影を行っております。写真撮影の同意がいただけない場合には経過確認が十分にできないため施術効果お問い合わせや施術の影響による合併症(皮膚トラブル・神経症状など)が生じた場合などについて、適切な処置ができない可能性があります。また、合併症が生じた場合の治療費は別途発生いたします。

フラクショナル炭酸ガスレーザー治療に関する同意書

私は、上記のフラクショナル炭酸ガスレーザー治療の作用、副作用および安全性について十分に理解し、フラクショナル炭酸ガスレーザー治療を受けること、写真撮影に同意します。

年 月 日

患者氏名

*18歳未満の方は保護者の (18歳未満の方のみ)
同意書が必要です。 保護者氏名

お預かりした個人情報は「にしたんクリニック」の全ての医院で共有いたします。予めご了承下さい。



Nishitan Clinic
にしたんクリニック

医療法人社団直悠会 にしたんクリニック